

令和6年2月4日開催

「労働生産性の向上を目指したデジタルの考え方と人材教育」

枝川智之

抄録

近年の歯科界もデジタル化が急速に進み、効率化を考えCAD/CAMを検討、また導入された方も多いと思いますが、実際に導入すると「補綴装置の量産が出来て大きなメリットを感じる」一方で「デジタルは手間がかかることや、思ったより経費や維持費の負担が大きい」など相反する意見もよく聞きます。

デジタル機器を活用し生産性を上げるには、機器の特性を把握し適切に活用することが重要である一方、扱う側の時間の無駄を省くことや、スタッフ間の連携を強化することでかなりの効率化になります。そのため「効率よく働く考え方」や「スタッフの教育と育成」を考えたシステムを構築することが生産性向上につながるのではないのでしょうか。

効率的な教育には、アナログとデジタルを目的によって使い分け、的確にスキルをのぼすことができ、また考え方や目標を共有することで、会社と個人のスキルを上げることがデジタル時代の効率化や生産性向上には欠かせない要因だと思っています。

今回の講演ではデジタル・経営・教育の分野を通して成果を変えるための「思考の習慣」を考え、将来のVisionを見据える機会になればと思っています。